

令和 7 年 1 月 13 日

和光市子ども・子育て支援会議
会長 森田 明美 様

和光市子ども・子育て支援会議
こども・若者部会
部会長 中 智美

令和 7 年度第 2 回和光市子ども・子育て支援会議こども・若者部会に付された事項に対する審議結果について（報告）

令和 7 年 1 月 7 日付で当部会に付された事項について、和光市こども計画を踏まえて審査した結果、次のとおり結論を得ましたので、報告します。

記

1 議題

- (1) こどもの権利条約と他自治体のこどもの権利条例について
- (2) こどもの権利に関するアンケート調査について
- (3) その他

2 審議内容

- (1) こどもの権利条約と他自治体のこどもの権利条例について

【ご意見】

条例は制定するだけでなく、広く周知し、理解を深めることが重要です。特に、絵や図を用いるなど、視覚的にわかりやすく伝える工夫が必要です。

【回答】

条例の制定にあたっては、こども・若者のみなさんと一緒に、絵や図を取り入れた解説など、わかりやすい周知・啓発の方法を検討していきます。

(2) 子どもの権利に関するアンケート調査について

【ご意見】

アンケート調査の対象を、小学生から高校生相当としていますが、大学生くらいの年代もこの前まで高校生だったことから考えると、意見をもらってもいいと思います。

【ご意見】

日頃からアンケート調査が多く、飽きてしまっているのが現状です。多くのアンケートは目的がはっきりせず、結果がどのように活用されるのかも分かりません。アンケートの目的を明確に示していただきたいです。

【ご意見】

アンケートを実施する際には、興味を持ってもらえるようなキャッチコピーなどの工夫が必要です。高校生向けのアンケートは多くありますが、関心を引かなければ回答してもらえないません。他のアンケートと差別化するインパクトが求められます。

【ご意見】

アンケートの選択肢の文章が長く感じられました。よりシンプルにすることで、回答しやすくなると思います。

【ご意見】

高校生へのアンケート調査について、回答してもらうためには実際に学校に行って直接生徒に説明し、その場でアンケートに答えてもらうなどの方法も考えられます。

【回答】

今回実施するアンケート調査は、子どもの権利条約の当事者である「子ども」にアンケート調査を実施します。今後、「20歳を祝う会」等の若者の集まる場において、当事者であった若者向けのアンケート調査を実施いたします。

アンケート項目については、より簡潔で分かりやすい表現となるよう検討を進めます。市内の小中学校には、校内で回答時間を設けていただけるよう依頼しています。いただいたご意見を踏まえ、高校に対しても、職員が直接訪問し、生徒の皆さんにアンケートの趣旨や目的を説明したうえで、回答の協力をお願いする予定です。また、高校生などが関心を持ちやすくなるよう、キャッチコピーの工夫なども取り入れていきます。

以上